

「第 15 回宝くじに関する世論調査」報告書ダイジェスト

- ・ 宝くじ購入経験者は 74.5%、推計人口約 7,888 万人
- ・ 宝くじの平均購入総額は 10,120 円、購入者ベースで 24,880 円
- ・ インターネットを通じた宝くじ購入の認知者は 37.1%で、9.3 ポイント増加

一般財団法人日本宝くじ協会では、宝くじに関して、宝くじの購入有無や購入パターンをはじめ、宝くじの種類ごとの購入実態と意識・評価、インターネットを通じた購入実態と意識・評価、宝くじの等級と賞金、くじ券単価に関する意識、「収益金の使いみち」に関する意識など様々な観点からその実態を把握することを目的に、「宝くじに関する世論調査」を昭和 51 年（1976 年）から 3 年ごとに実施しています。

第 15 回となる本年は、全国 47 都道府県に居住する満 18 歳以上の男女から無作為に抽出した 12,565 人に対し、この 3 月から 4 月にかけて直接面接法により回答が得られた 6,104 人を対象に調査を行いました。なお、本調査では、母集団となる満 18 歳以上の男女の全人口を平成 30 年 1 月 1 日の住民基本台帳から約 1 億 590 万人と推計し、調査結果のパーセンテージを対比させた人数をもとに報告書をまとめています。

調査結果の主なものは、下記のとおりです。

1 宝くじ購入経験者について

■宝くじ購入経験率は 74.5%。推計人口約 7,888 万人。

- ・ 宝くじを過去に 1 度でも購入したことのある購入経験者の割合は 74.5%（前回調査比 1.9 ポイント減）で、そこから推計される購入経験者数は約 7,888 万人（同約 227 万人減）で、8,000 万人台だった前々回、前回から、今回 7,000 万人台に戻りました。
- ・ 最近 1 年間に 1 回以上の購入経験がある「宝くじ人口」は 41.8%で、推計人口にして約 4,422 万人と、調査と比べて 7.3 ポイント、推計人口で約 797 万人の減少となっています。
- ・ また、最近 1 年間に月 1 回以上購入した「宝くじファン」は 7.7%で、推計人口にして約 810 万人と、前回調査比で 2.1 ポイント、推計人口で約 234 万人の微減となりました。

[宝くじ購入経験者／宝くじ人口／宝くじファン]

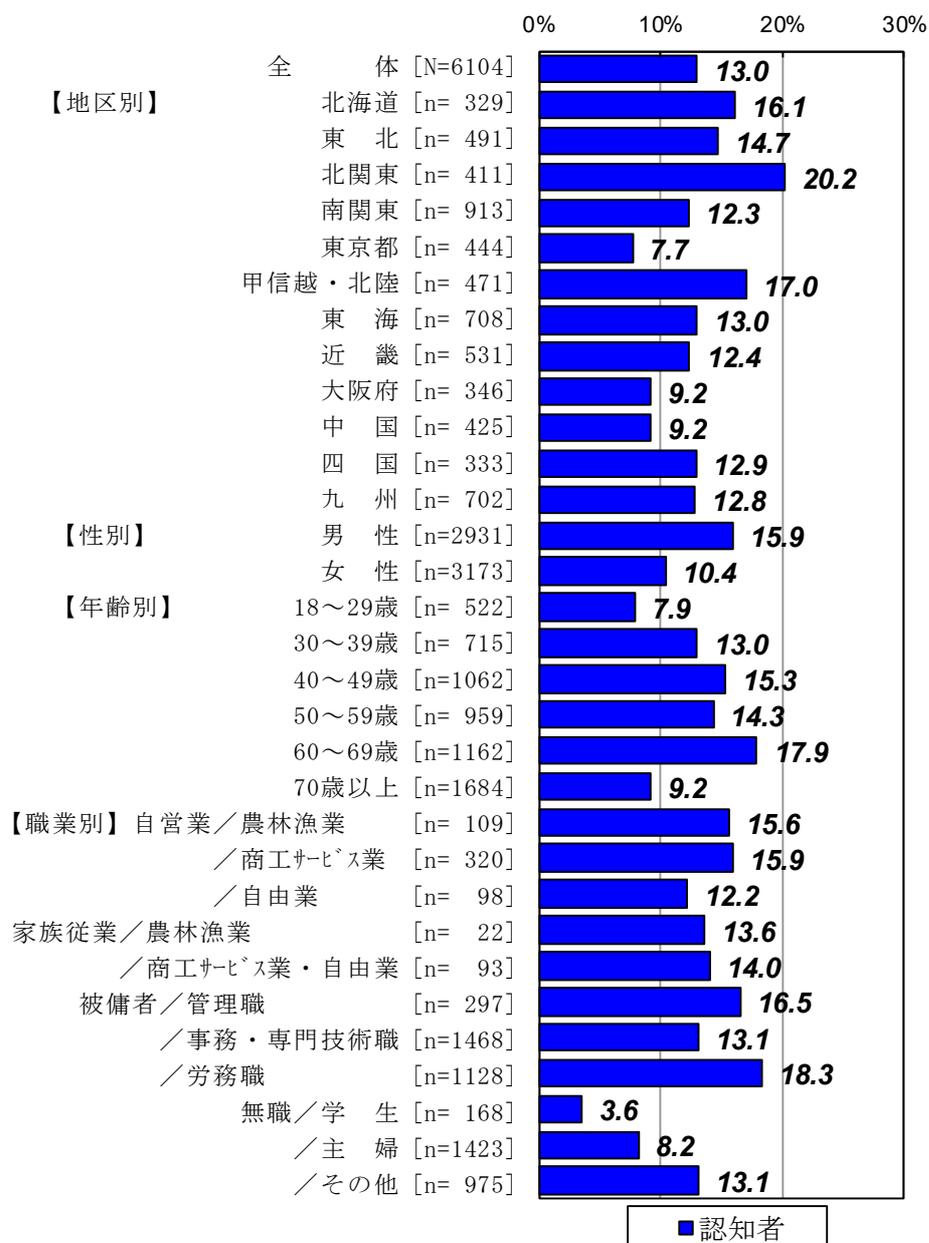
単位：万人

	今回（令和元年）		前回（平成 28 年）	
宝くじ購入経験者	7,888	74.5%	8,115	76.4%
宝くじ人口(最近 1 年間に 1 回以上宝くじを買った人)	4,422	41.8%	5,219	49.1%
宝くじファン(最近 1 年間につき 1 回以上宝くじを買った人)	810	7.7%	1,044	9.8%

■「ジャンボプチ」の購入経験者は3.2%。

- ・「ジャンボプチ」は、平成28年11月に初登場し、「年末ジャンボ」宝くじと同時期に発売され、平成29年にも「サマージャンボ」宝くじの発売時に発売されました。今回は、その「ジャンボプチ」についても聞きました。
- ・「ジャンボプチ」の認知率は、13.0%でした。
- ・「ジャンボプチ」の購入経験率は、3.2%でした。
- ・性別では、男性3.8%、女性2.7%の購入経験率でした。
- ・年齢別の購入経験率は、60代（4.6%）が最も多く、次いで50代（4.3%）、40代（4.0%）の順でした。

【「ジャンボプチ」購入経験（地域・性・年齢・職業別）】



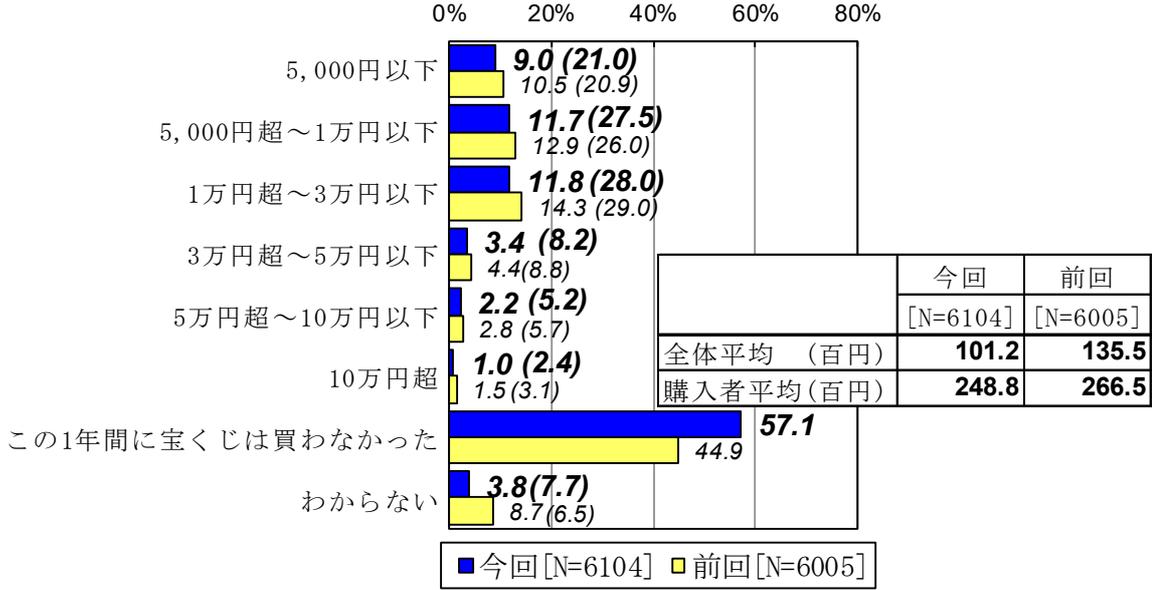
2 最近1年間に購入した「宝くじ」の総額

■宝くじの平均購入総額は10,120円、購入者ベースで24,880円。

■前回に比べてそれぞれ3,430円減、1,770円減で、調査開始以降最も少ない。

- ・最近1年間の「宝くじ」購入総額をみると、「1万円超～3万円以下」が最も高く全体の11.8%（購入者ベースの28.0%）、次いで「5,000円超～1万円以下」が全体の11.7%（購入者ベースの27.5%）、「5,000円以下」が9.0%（購入者ベースでは21.0%）となっています。最近1年間の購入者のうち、約77%が「3万円以下」、約49%が「1万円以下」です。
- ・平均購入総額は、最近1年間非購入者を含む全体で10,120円、購入者ベースでは24,880円でした。前回と比べ、購入総額分布の変化はほとんどありません。前回の平均購入総額は13,550円、購入者ベースでは26,650円で、それぞれ今回は3,430円、1,770円減少しています。これは調査開始以降、最も少ない結果です。

[最近1年間の「宝くじ」購入総額]
 (括弧内の数字はN=最近1年間宝くじ購入者(宝くじ人口)ベース)



[最近1年間の「宝くじ」平均購入総額]

単位：百円

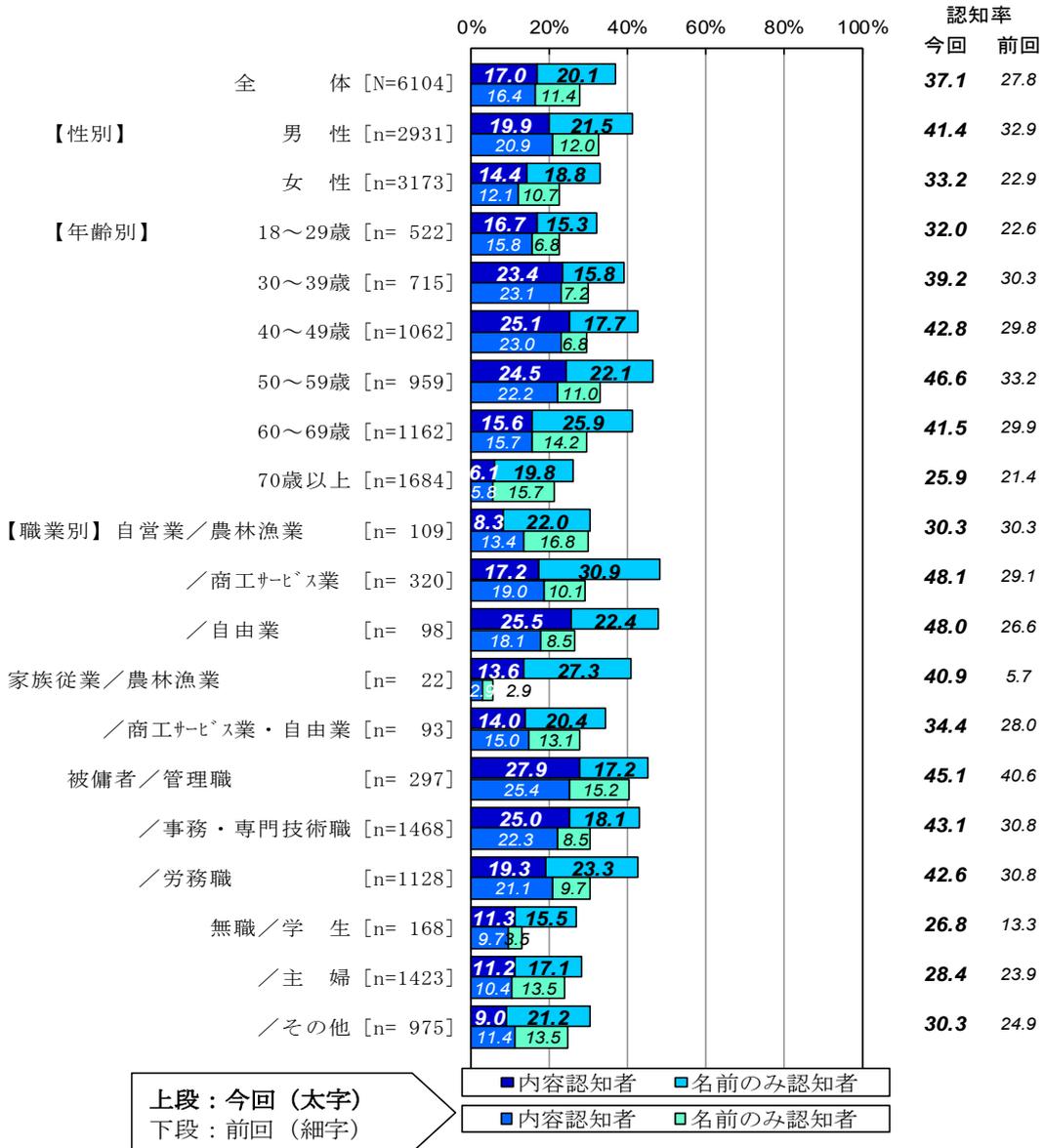
	第9回 (H.13)	第10回 (H.16)	第11回 (H.19)	第12回 (H.22)	第13回 (H.25)	第14回 (H.28)	第15回 (R.1)
全体平均	136.2	146.8	194.7	141.3	124.4	135.5	101.2
購入者平均	276.1	294.5	362.8	278.8	252.1	266.5	248.8

3 インターネットを通じた宝くじの購入実態

■インターネットを通じた宝くじ購入の認知者は 37.1%で、9.3ポイント増加。

- ・インターネット（携帯電話、スマートフォン等でのアクセスを含む）を通じて、宝くじが購入できることを知っているという認知者は 37.1%。そのうち、何らかの内容について知っている人は 17.0%、「インターネットで宝くじの購入ができることだけは知っている」という人は 20.1%でした。認知率は前回より 9.3ポイント増加しました。
- ・性別では、認知率、内容認知率ともに、男性（41.4%、19.9%）が女性（33.2%、14.4%）を上回っています。男女差は、認知率で 8.2ポイント差、内容認知率で 5.5ポイント差ですが、この差は前回（認知率で 10.0ポイント差、内容認知率で 8.8ポイント差）よりやや縮小しています。
- ・年齢別でみると、認知率は 50 代の 46.6%を筆頭に、40 代、60 代の 4 割台で高く、29 歳以下（32.0%）、70 歳以上（25.9%）では比較的低くなっています。前回と比較して、いずれの年齢層でも認知率は伸びており、特に 40～50 代は 13ポイント台増加しています。

[インターネットを通じた宝くじ購入についての認知（性・年齢・職業別）]



4 「ジャンボ宝くじ」 1等と前後賞を合わせた賞金の希望額

■最も多いのは、「1億円」の21.6%。「1億円未満」が前回調査より減少し、高額化傾向。

- ・「ジャンボ宝くじ」の1等と前後賞を合わせた賞金の希望額をみると、回答率が高い順に「1億円」の21.6%、「1億円未満」の12.9%、「3億円」の11.8%。
- ・前回と比べて、「1億円」は4.6ポイント増加しているが、「1億円未満」は9.2ポイント減少し、その結果「2億円未満（計）」は4.6ポイント減で、低額希望は減少が目立ちます。一方、「3億円」が1.2ポイント微増、「7億円」や「8億円」もそれぞれわずかながら増えており、「2億円超（計）」は前回より2.7ポイント増の34.0%、「4億円超（計）」は1.7ポイントの増の20.6%となりました。実際の賞金額の増額（変動）を反映して、1等賞金の希望額も全体的な高額化傾向がうかがえます。

【「ジャンボ宝くじ」1等と前後賞を合わせた賞金の希望額】

